講義名	観光英語Ａ				
科目区分	学部フリーゾーン				
担当教員	中川　典子				
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 ２時限				
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科／2018年度 人間社会学部 観光学科／2018年度 人間社会学部 人間社会学科／ 2018年度 経済学部 経済情報学科／2018年度 経済学部 経済学科／2018年度 商学部 マーケティング学科／ 2018年度 商学部 経営学科／2017年度 人間社会学部 人間健康学科／2017年度 人間社会学部 観光学科／ 2017年度 人間社会学部 人間社会学科／2017年度 経済学部 経済情報学科／2017年度 経済学部 経済学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	講義コード	52064

主題と概要

国際化社会の進展に伴い、海外へ旅行する日本人、海外から来日する外国人は増加の一途をたどっている。また、現在の日本にとって、観光産業の充実を図るための諸施策も大きな課題となっている。特に、旅行・観光・ホテル・レストランサービス等の業種にあっては、英語の運用能力だけではなく、業界専門用語や独特の言い回しなど、業務遂行に必要な英語力を持ったプロの養成が急務であり、このような能力をもつ人材への高い需要がある。本コースでは、ツーリズムやホスピタリティビジネスなどに興味のある受講生が明確な目的を持ち、ツーリズムのプロとして必要な英語を楽しみながら学べる授業を展開する。「英語を学ぶ」というよりも、「英語で“観光を学ぶ”」という意識で取り組んで欲しい。

到達目標

（1）「旅行業」「航空業」「ホテル業」といった観光産業に必要な英語表現を習得する。
（2）観光コミュニケーションに必要なリスニング、スピーキング、リーディングのスキルに加えて、観光産業の基本的な知識を学ぶ。
（3）クラスメートとのロールプレイ演習により、実践的な英語コミュニケーション力を養う。
（4）演習を通じて、文化の多様性を理解し、受容できる異文化コミュニケーション力を養う。

提出課題

「予習・復習」の欄を参照のこと。

評価の基準

（1）課題（30 %）
（2）クイズ（30 %）
（3）最終試験（３０ %）
（4）クラス参加および態度（１０%）

履修にあたっての注意・助言他

（1）コースの評価は、上記の評価基準の(1)(2)(3)(4)のすべてを完了した者に対して与えられる。１つでも参加しない項目がある場合、単位は認定されない。
（2）講師が入室したときに教室にいない学生は遅刻者と見なす。特別な理由がない限り遅刻厳禁。
（3）規定の時間以上の遅刻は欠席となる。また，規定以上の回数欠席すると単位が認定されない。

＊詳細は、第1回目の授業で知らせる。

教科書

.English for Tourism Professionals.	Reiko Fujita	National Geographic	￥2,400	978-4-86312-

プリント資料及び参考文献

授業中にアナウンスまたは配布する。

授業計画

回	授業計画
1	Course Guidance
2 & 3	Unit1 Recomending a Tour
4 & 5	Unit 2 Taking a Tour Booking
6 & 7	Unit 3 Escorting a Tour
8 & 9	Unit 4 Welcoming International Tourists
10 & 11	Unit 5 Taking an Airline Reservation
12 & 13	Unit 6 Giving Flight Information
14 & 15	Unit 7 Helping Passengers Check in

＊毎回の授業内容は進捗状況により、次週に持ち越すことがある。

予習・復習

予習として観光英語検定3級の用語集から、毎回1ユニットを課題とする。また、テキストから課題を出すことがある。復習として前週に学習した内容に関するクイズを次週に実施する。

備考

テキストを購入せずに授業に出席した場合、単位は取得できない。常に真摯な態度で受講すること。
第1回目の授業で履修に関する重要事項を伝えるので、必ず出席すること。